

# 自然災害（強風・台風対策）に対する保守管理

（社）日本施設園芸協会編「施設園芸ハンドブック」より



## ◇自然災害の種類と対策

自然災害の主なものとしては、強風・豪雪・豪雨・地震等があります。災害の事前対策（気象情報の把握、伝達方法、災害に対する処置等）を綿密周到に計画し、また応急対策用資材を整備しておくことが大切です。

## ◇強風・台風対策

風に対する第一の注意は、被覆材の破損やはがれなどによって、施設内に風を吹き込ませないこと、破損箇所は速やかに補修しておきましょう。

### ①強風の事前準備

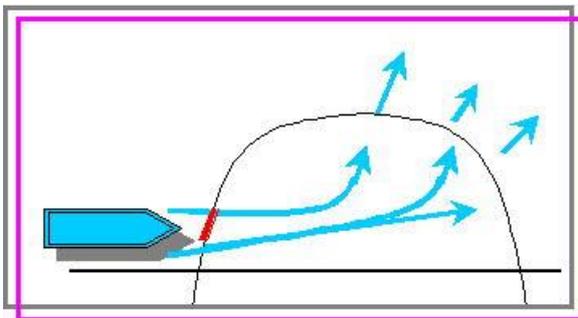
被覆フィルムがゆるんでいると、強風にあおられて被害が生じやすいので、取り付け金具の緊張、押さえ紐の固定、両妻面の補強、防風ネットの覆いなどを、再点検の上、整備しておきましょう。強風による木片・小石などの飛来で、被覆材を損傷しないよう、施設周辺は片付けておきましょう。筋かい・支線などの臨時的補強材を準備しておき、強風警報発令と同時に取り付けますが、強風時は危険を伴うため事前の対応が望ましく、これらの補強は、効果的な方法を予め研究しておくことが大切です。



### ② 強風来襲時の対策

強風による被覆材の剥（はく）離を防止するため、出入口を密閉し、換気扇を稼働させて、施設の内圧をマイナスにします。

《例》 風の吹き込み



《注》開口部やフィルムの破損部から風が吹込むとパイプハウスの内圧が高くなり、フィルムの剥離やハウスの浮き上りの原因となる。

### ③風通過後の処置

被覆材や止め付けの緩み・破損、構造材等のボルト・ナットの緩み等を総点検し、必要があれば速やかに補修しておきましょう。